

(公財)コープともしびボランティア振興財団について

阪神・淡路大震災を機に一気に広がったボランティア活動が地域に根付くことを願い、兵庫県内の様々なボランティア活動を支援する財団法人として、1996年にコープこうべによって設立され2012年に公益財団法人になりました。「助け合い・支え合う社会をつくりたい」と願う人たちの思いを賛助会費や寄付、募金というかたちで集め、兵庫県内のボランティア活動への資金助成をしています。

申請に必要なこと

- 2025年4月1日現在、活動開始から1年以上経過している
- 3人以上のメンバーがいる
- 兵庫県内に拠点を置き、公益的な活動を行うボランティアグループ・サークル、NPO法人もしくはNPO法人に準ずる団体
[一般社団法人、その他(例:〇〇高校〇〇部、〇〇大学〇〇部 など)]
- 領収書(原本)などを保管し、活動完了報告書の提出ができる

申請できる費用

- 材料費 ■消耗品費 ■食材費 ■運搬費
- 旅費交通費 ■宿泊費 ■他活動に必要な費用

※ただし備品は、申請金額の20%まで
以下は対象外です
※家賃・地代・水道光熱費等、団体の経常的な費用
※スタッフ・メンバー・ボランティア等の飲食費、食事代

申請書について

応募に際して、以下の事項にご留意の上、(公財)コープともしびボランティア振興財団まで申請書を提出してください。
申請書は、ともしび財団のホームページからダウンロードをお願いします。

※A・Bコースで申請書が異なりますのでご注意ください

- 申請書は黒インクか黒ボールペン、またはパソコン入力等で記入してください
- 申請書は返却できませんので、必ず控えをお取りください
- 一度提出いただいた申請書の差し替えはできません

申請書の送付先

1. 郵送でのご応募 5月30日(金)必着

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3-20
コープこうべ生活文化センター西館2F
(公財)コープともしびボランティア振興財団 宛
※封筒の表書きに「第4期能登助成申請書類」と明記してください。

2. メールでのご応募

個人情報を取り扱うため、財団が指定した方法のみでの提出となります。

※メールに直接、申請書等ファイルを添付された場合、ファイルを開くことは致しかねますので申請を受け付けません。あらかじめご了承ください。

- 5月30日(金)正午までに**、下記メールアドレス宛に応募の旨をメールにてご連絡ください。
Email: tomosibi@kobe.coop.or.jp
件名 第4期能登支援助成申請
- ご応募の旨を連絡いただいたメールアドレス宛に、財団より応募方法を送信いたします。その方法にもとづき、速やかに送信してください。

申請から助成決定までの流れ

申請受付締切	2025年5月30日(金)
書類選考 助成決定通知	選考結果を 2025年6月10日(火)頃までに 担当者にメール等で連絡します
活動実施	2025年4月1日(火)～ 6月30日(月) ※上記期間内に実施する活動を 助成対象とします。申請前に実施された 活動も助成の対象となります。
活動完了 報告書提出	2025年7月23日(水) 締切
助成金振込み	提出された報告書の確認を行い、 助成金を振込みます

その他

- 採否の理由につきましての問い合わせには応じかねますのでご了承ください。
- 団体に対し、コープこうべ、財団からの取材やホームページ、広報物などへ活動内容および写真の掲載などを依頼する場合があります。

申請書・募集要項はホームページよりダウンロードできます

ともしび財団 検索



コープこうべ組合員からの
募金をもとに実施します!

第4期



コープこうべ
キャラクター
「コービー」

助成対象期間 2025年4月1日(火)～6月30日(月)

能登半島地震 被災地支援助成

助成団体募集のお知らせ

※第1～3期で採択させていただいた団体も申請できます
※被災地に行かない活動も申請できます ※応募期間中の申請は1回までです

令和6年1月1日に発生した能登半島地震を受け、コープこうべでは緊急募金を行い、多くの組合員からの善意(寄付金)が寄せられました。当助成ではこの寄付金を活用し、能登半島地震の被災地の方々の暮らしの再建や被災地域の復興活動を支援する団体に対し、継続的な支援を行います。

募集期間 **申請締切 / 2025年5月30日(金)**

助成対象団体 兵庫県内に活動拠点を置き、公益的な活動を行うボランティアグループ・サークル、NPO法人、もしくはNPO法人に準ずる団体
(一般社団法人、その他(例:〇〇高校〇〇部、〇〇大学〇〇部など))

助成
申請金額

Aコース きら星ボランティアコース **上限5万円**
小さくてもキラリと光る支援活動

Bコース お日様ボランティアコース **上限20万円**
お日様のような温かい支援活動

ぜひご覧ください
中に
活動報告あり

お問い合わせ

(公財)コープともしびボランティア振興財団
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3-20 生活文化センター西館2階
開館時間 月～金 10:00～17:00 (祝日を除く)

TEL: 078-412-3930
FAX: 078-412-3871
E-mail: tomosibi@kobe.coop.or.jp

ホームページ <https://www.tomoshibi-found.or.jp/>

ともしび財団 検索

活動報告〈一例〉

のべ9団体、約380万円を助成

被災支援ボランティア団体 「おたがいさまプロジェクト」

2024年9月から奥能登（輪島市、珠洲市、能登町）の仮設住宅や公民館で傾聴活動、見守り訪問、写真洗浄広報を行いました。

傾聴活動や見守り訪問では、被災された方一人ひとりのお話を傾聴することで、孤独や悲しみなどの感情に深く寄り添うことができました。その結果、信頼関係を築くことができ、写真洗浄の依頼をいただきました。9月に輪島市、能登町など4家族、およそ1000枚の写真を預かりました。今後洗浄し、美装してご家族のもとにお返しする予定です。

今回の活動で寄せられた被災者の方の声を動画にしました。この動画を関西で行っている写真洗浄会の参加者に紹介しました。災害の風化防止やボランティアへの参加、寄付に繋げることが目的です。実際ボランティアへ参加したいとの声があり、今後一緒に被災地で活動する予定です。



震災から1年以上が過ぎましたが、被災された方の精神的な不安がまだに色濃く残っています。引き続き、ソフト面・ハード面の両方からの支援が必要だと考えます。若者や初めて参加するなど多くの方を積極的に募り、手を取り合っていながら継続的に活動を続けていきます。



播州復興隊



石川県七尾市で活動する団体の指示のもと、2024年8月から輪島市や七尾市で震災・水害被災家屋の泥出しや清掃、荷物の運搬などを実施しました。SNSでメンバーを募り、レンタカーや自家用車で被災地へ行きました。

具体的には、公費解体が決まったお宅で自治体から指示されたものや家主さんの残しておきたい物の搬出などです。9月からは仮設住宅に入所されている方へも広がりました。被災者の方は毎回メニューを楽しみにしておられ、7月は180食、9月は250食、12月は400食を配食しました。

活動する中で現地の方が、「新しい家のため地震の被害は少なかったけど、水害が酷かった」や「解体する自宅から持ち出したいものがたくさんあるけど置く場所がない」など心悲しいお話をされる一方で「地震、水害と立て続けに起こり再建は難しいと思っていたが、ボランティアの方が来てくれたことにより立て直そうと考えるようになった」とうれしいお声もいただきました。

復興にはほど遠い状態にあります。今後も現地の団体の協力のもと活動を続けていきたいと考えています。



多くの組合員からの
善意（寄付金）の一部を活用し、
被災地の方々の暮らしの再建や
被災地域の復興活動に取り組む
団体を3期に分けて
支援しました。



上記以外の助成団体一覧

- 特定非営利活動法人 CODE海外災害援助市民センター（足湯ボランティア活動）
- 特定非営利活動法人日本ふれパト協会（屋根瓦修復、家屋撤去作業）
- 特定非営利活動法人ブレーションヒューマニティー（傾聴活動）
- MUSIC ZOO（被災地の親子のアート体験）
- 若者防災協議会（復旧作業やサロン活動）

みんなで減災し隊！



今回の活動は、関西学院大学の学生11名と協力して実施しました。学生の多くは災害ボランティアを初めて経験。事前ミーティングを数回行ってから能登でボランティア活動をしました。その後、神戸で報告会を開催しました。



事前ミーティングでは能登で活動する団体とオンラインでつながりました。まずは能登地震・豪雨での現状を知ること、被災者の方への寄り添いなどを全員で学び共有しました。そして2024年10月、能登町柳田の重年地区で災害豪雨による泥出しのボランティア活動を行いました。それから輪島市に移動し、被災地の視察や地震で母親と祖母を亡くした中学生と交流し、話に耳を傾けました。

その後、11月に神戸で報告会を開催しました。能登の現状と30年を迎える阪神・淡路大震災を一般市民に広く伝え、能登への支援を呼びかけました。能登の物品販売も行い、収益を寄付しました。

若者が被災地で活動することは、被災者の方々にとって大きな希望と勇気を与えることにつながります。今回の活動を通じて、継続的な支援活動の基盤を整えることができたので今後も学生と一緒に活動していきたいと考えています。



こうべ ことな 神戸・心絆

今回の助成金を活用し2024年7月から3回、珠洲市で食事提供（炊き出し）の実施と交流のための支援を行いました。

7月は小学校へ避難された方を対象に炊き出しを行っていましたが、9月からは仮設住宅に入所されている方へも広がりました。被災者の方は毎回メニューを楽しみにしておられ、7月は180食、9月は250食、12月は400食を配食しました。

12月はお正月気分を感じてもらうために紅白なます、炊き込みごはん、黒豆、伊達巻、年越しそばを用意しました。食事の後にはぜんざいを食べながら、炊き出しを手伝ってくださった歌手の半崎美子



さん（祖父が珠洲市出身）に歌を披露していただきました。また神戸から「1.17希望の灯り」を運び竹灯籠に灯し、地震発生時刻に黙祷、献花を行い亡くなられた方々の冥福を祈りました。炊き出しを始めた頃は避難所の方々とは心絆とはそれぞれが遠慮がちでしたが、回を重ねるごとに「おっ、来たか」と親戚のように温かく迎え入れてくださるようになり、炊き出しにも協力してもらっています。その中で私たちが色々な会話をすることで、少しでもストレス発散になっているのではないかと考えています。

能登半島地震は息の長い支援が必要ですので、継続して活動することにより今後も被災者の皆さんの心に寄り添って共に歩んでいきます。